

# 平成20年度 学校自己評価システムシート (県立進修館高等学校)

目指す学校像	落ち着いた環境の中で、生徒一人ひとりの学力・体力の向上と規律ある態度の育成を目指す学校、明るく活力にあふれ、地域が誇りに思える学校
--------	---

重点目標	1 学力向上と進学・就職実績の向上をめざす
	2 規律ある態度の育成をはかる
	3 学校情報を積極的に発信し、本校への理解を深め、志願者数の増加をめざす

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	8名

重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標				年度評価(2月20日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自の将来を見据え、前向きに授業に取り組む生徒が多いが、一部に授業に集中できない生徒もいる。</li> <li>成績不振や欠席の多い生徒がいる。</li> <li>移動教室の授業等で、授業開始時に遅刻する生徒がいる。</li> </ul>	授業改善及び 学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学科の教育課程の工夫と改善を図り、生徒が興味関心を示す授業内容の検討を進める。</li> <li>成績不振の生徒に対し、効果的に指導を行う。</li> <li>自習室や図書館の活用を推進し、学習習慣の定着を図る。</li> <li>チャイム トリ チャイムの徹底を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒、保護者の満足度の増加</li> <li>成績不振の生徒の減少</li> <li>自習室の活用状況、家庭学習時間の変化</li> <li>移動教室の授業等における遅刻生徒の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択科目の工夫等、生徒の状況に沿った教育課程の変更を行った。同時に大幅な見直しも進めている。</li> <li>成績上位者は増加した。成績不振の生徒に対し、早期指導を行ったが、不振者数の減少までには至らなかった。</li> <li>チャイム トリ チャイムの徹底が図れつつある。</li> <li>生徒・保護者の満足度は、若干上昇した。</li> </ul>	B
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>多数の生徒が進路実現に向けて努力している。</li> <li>進学に向けた補習体制の整備を進めている。</li> <li>目的意識を持っていない生徒がいる。</li> <li>安易な進路決定をする生徒がいる。</li> </ul>	進学・就職実績の 向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日・土曜・長期休業中の補習を充実させる。</li> <li>資格取得を推進し、進路実現をめざす。</li> <li>上級学校への理解を深め、チャレンジ精神を持った生徒を増やす。</li> <li>高大連携・キャリア教育・インターンシップの充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補習参加者の増加</li> <li>国公立大学を含めた進学実績の向上</li> <li>生徒の希望にかなった就職実績の向上</li> <li>生徒、保護者の満足度の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜補習参加者が増加した。夏季補習においても生徒は意欲的に取り組んだ。</li> <li>進学・就職ともに第一志望に合格した生徒が多い。また、現在も目標に向け、一般受験に取り組んでいる生徒も多い。</li> <li>就職難の中、進路決定に苦勞する場面があったが、就職内定率100%を実現できた。</li> <li>補習、模試、資格取得に対する生徒の満足度が上昇した。</li> </ul>	B
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>規律ある態度の育成をはかるため、組織的・計画的に生徒指導を行っている。</li> <li>一部に服装が乱れている生徒がいる。</li> <li>遅刻の多い生徒がいる。</li> <li>心の悩みを持つ生徒がいる。</li> </ul>	生活習慣の確立と 生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年と生徒指導部が連携し、組織的に生徒指導を行う。</li> <li>頭髪・服装検査を定期的に実施する。</li> <li>定期的・組織的に校門指導や校内巡視指導を行う。</li> <li>挨拶の励行、遅刻の防止、身だしなみの指導に努める。</li> <li>教育相談を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭髪・服装指導数の減少</li> <li>遅刻者数の減少</li> <li>問題行動の減少</li> <li>生徒、保護者の満足度の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭髪指導について、学年と生徒指導部が連携し、組織的に対応した結果、大幅な違反者が減少した。</li> <li>心に悩みを持つ生徒が一部に見られる。</li> <li>相談体制や安全に関する指導のさらなる充実を望む声が出ている。</li> </ul>	B
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価アンケートを実施している。</li> <li>進修館通信を定期的に発行している。</li> <li>学校説明会及び公開授業を実施している。</li> <li>図書館を解放し、地域との連携に努めている。</li> </ul>	開かれた学校づく り	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評議員から意見や提言を受け、学校経営に生かす。</li> <li>進修館通信や学校ホームページをさらに充実させ、情報発信に努める。</li> <li>学校説明会を年5回、工業体験実習を年3回実施する。</li> <li>学校案内パンフレットの創意工夫を行う。</li> <li>保護者等が多数参加できる公開授業を実施する。</li> <li>地域開放型図書館の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評議員会と評価懇話会を年3回開催する。</li> <li>進修館通信を年8回発行する</li> <li>学校説明会の参加者(志願者数)の増加</li> <li>公開授業の参加者数の増加</li> <li>図書館の利用者数の増加</li> <li>生徒、保護者の満足度の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進修館通信を年8回発行し、近隣中学校や地域に配布した。本年度より保護者にも配布した。</li> <li>学校説明会の参加者は、生徒1086名、保護者434名であった。保護者を含めた総参加者は増加した。</li> <li>図書館利用者(開放日)は約400名であり、昨年より増加した。公開授業の参加は昨年程度であった。</li> <li>保護者より、進路情報の発信をさらに望む声がある。</li> <li>長期休業中に公開講座を実施した。</li> </ul>	B

学校関係者評価	
実施日	平成21年2月20日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新校として開校以来4年が経過し、全体的なまとまりが出てきた。これまでの先生方の努力に感謝する。</li> <li>本校の目指す方向性を少しずつ固めた方が良いのではないかと、「学力向上」とともに、他の様々な観点を通じて、生徒を伸ばすことも必要ではないかと。</li> <li>「子どもにとって、いきいきと生活できる学校」「親として、安心してお願いできる学校」これが保護者としての願いである。今後もより良い学校に向けて、引き続き指導をお願いしたい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>不況の中、良好な進路結果が出ている。素晴らしいことである。</li> <li>本校には多くの資格取得にチャレンジできる魅力がある。</li> <li>生徒の進路希望は、途中で変化する可能性がある。3つの学科の特長を有効に活用し、進路希望実現のために、さらによりよくお願いしたい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をしっかりとできる生徒が多い。</li> <li>社会全体で様々な問題が起きている。生徒へ注意喚起をさらにお願したい。注意喚起のポスターの掲示場所の工夫も必要である。</li> <li>悩みを持つ生徒がいる。忙しい中だが、先生方には生徒と触れ合う時間をさらにとり、学校内外で、生徒の様子を見守ってもらいたい。</li> <li>校内の規律を、生徒の中でも考えてみたらどうだろうか。生徒会活動を通じ、過ごしやすく楽しい学校づくりを目指してもらいたい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本校への進学者に行田市内の生徒が増加している。今後も地元へ愛される学校であってほしい。地元としても応援する。</li> <li>全国大会や関東大会に出場する部活動だけでなく、他にも頑張っている部活動が多数ある。それらをさらに幅広く紹介する。町内の掲示板に進修館通信を貼る等のPR活動もできると思う。</li> <li>地元と密着する活動を増やす。地元との連携を強め、本校への理解を深める。</li> <li>今回の懇話会には生徒の代表者も出席していた。生徒の声が聞けて有意義であった。</li> </ul>	